

# 若事研本報

No. 1 9 2  
編集・発行  
岩手県公立小中学校  
事務職員研究協議会  
総務部  
平成27年3月6日

## 県事務研セミナー 平成27年1月9日(金) 会場：盛岡劇場

退職準備セミナー等で忙しい中、会員外の方を含め124名の皆さんに参加いただきました。赤松さんの元気いっぱいのお話は、2時間の講演時間があっという間に感じられました。当日は北上駅で発生したポイント故障の影響で東北新幹線のダイヤが乱れ、赤松さんの盛岡への到着が遅れるというドキドキの場面も。

また、徳島県西部は12月初旬に大雪に見舞われ、東みよし町でも孤立・停電の続いた集落があったそうです。赤松さんのご自宅や勤務校は「被害がなく大丈夫でした」と話されていました。

### 「つながる」コーディネートは事務職員の仕事

徳島県 東みよし町立三好中学校  
主査兼事務長 赤松 梨江子 氏



演題からどのような内容かと思いましたが、大変勉強になるものでした。学校での取組みの事例では、児童生徒に直接アピールし、特に視覚や会話でイメージを学校全体で共有する取組みには驚きました。また、自分が日頃迷想している今後のキャリアデザインについて、参考になるお話がありました。(早速、関連の書籍を購入しました。)

オックスフォード大学の研究で、10年後には今ある職業の50%が消滅するという発表があったことにふれ、いろいろなことに事務職員も関わっていくべきではないかとのお話がありました。学校事務という仕事が10年後になくなるとは思いませんが、確かに自分が採用になった頃とは仕事の内容も変化してきているのは明白です。

私も赤松さんのように学校事務という仕事に対して、目標を高く維持できるようになりたいと思いました。研修部の皆様、役員の皆様、企画運営おつかれさまでした。ありがとうございました。

(参加者より)

### 加茂の大クス (かものおおクス)



徳島県東みよし町加茂(旧三加茂町)に自生するクスノキの巨木です。国の特別天然記念物に指定されています。新日本名木百選選定。

# 全事研セミナー 平成27年2月13日(金) 会場：川崎市教育文化会館

大雪に見舞われた昨年とは異なり、天候にも恵まれて今年度の全事研セミナーが行われました。岩手県からは78名、全国から1,100名の参加がありました。

## 開会式

鳥本安博会長より「現在、中央教育審議会におきまして『チームとしての学校・教職員の在り方に関する作業部会』が設置され、学校が組織全体の総合力を高め、発揮していくための学校運営の在り方等について有識者による検討が行われています。この中では、教員と事務職員など様々な人材との役割分担や連携の在り方についても検討課題とされているところであり、先日開催された作業部会では、事務職員に関することが集中的に議論が行われました。

昨年9月29日『チーム学校構想 事務職員も欠かせない戦力だ』との見出しで読売新聞の社説でもとりあげられたように、事務職員がチーム学校を推進するための重要な立ち位置にいて、またその役割に期待もされているのだと思います。今こそ私たち自らが事務職員の新たな役割を提言し、実践していくことが必要です。

このような状況の中で開催いたします本日の全事研セミナーが各地の研究推進の一助となり、みなさまの学校現場での実践、成果につながれば幸いです。」とあいさつがありました。

## 文部科学省行政説明

文部科学省初等中等教育局財務課 課長 池田 貴城 氏

平成27年度文部科学関係予算(案)の文教関係予算のポイントについて

区 分	平成26年度 予 算 額	平成27年度 予算額(案)	対前年度	
			増△減額	増△減率
一般会計	4兆792億円	4兆676億円	△117億円	△0.3%
復興特別会計	1,183億円	2,001億円	818億円	69.1%
合 計	4兆1,976億円	4兆2,677億円	701億円	1.7%

【26年度補正予算案：1,415億円】

我が国が引き続き成長・発展を持続するためには、一人一人の能力や可能性を最大限引き出し、付加価値や生産性を高めていくことが不可欠。このため、特に若者や女性に光を当て、教育の再生のための取組を強力に推し進めることが必要。

○そのため、以下のことをはじめとする「教育再生」を実現するための施策に重点化

- ・教員の「質」と「数」の一体的強化や学校を核とした地域力強化、女性の活躍推進など、社会を生き抜く力の養成

…課題解決型授業(アクティブ・ラーニング)の推進、学校マネジメント体制の強化

- ・グローバル人材の育成や大学改革の推進など、未来への飛躍を実現する人材の養成
- ・幼児教育の段階的無償化に向けた取り組みの推進や無利子奨学金事業の拡充、学校施設等の耐震化など、学びのセーフティネットの構築



## アクティブ・ラーニングとは？

教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である。

## 講義Ⅰ 「学校マネジメントと学校裁量予算制度」

日本大学 准教授 末 富 芳 氏

より良い学校マネジメントのための学校予算・財務には、スクールリーダーと学校事務職員の協力関係が不可欠。⇒予算委員会が組織化されることのメリットを認識し、浸透させていく必要がある。

・学校改善の捉え方：学校における「子どもの学び」を組織的に豊かにすること。

・学校財務との位置関係：「子どもの学び」を組織的に豊かにするために、必要なことを考える。

例：教師の力量形成、研修会講師の招へい、学習設備の整備、図書の購入→何にいくらかかるか  
→最初にどんな学びの豊かさをイメージするのか、ビジョンが必要。

・校長、教頭、教務主任、事務職員が「子どもの学び」と「必要な予算措置」をめぐって議論することが必要。（その前提として、教育委員会が、学校の予算編成裁量を拡大することが期待される。）

・学校改善を実現するためには、第一に、スクールリーダーの学校財務面に関する問題意識、第二に学校事務職員の教育経営に関する問題意識、第三にスクールリーダーと学校事務職員の協力関係が不可欠。

### 学校事務職員が意識すべきこと

「効果的な学校マネジメント『子どもの学び』の豊かさ、教職員や地域、保護者の協働」

…子どもが前向きであってほしい。

○教授活動と予算活動のサイクルがかみ合っているかどうか。

○教員とのイメージの共有

## 講義Ⅱ 「これからの教育を実現するためのカリキュラムマネジメント～事務職員の役割を考える～」

国立大学法人 岐阜大学教職大学院 准教授 田 村 知 子 氏

学校の使命、目的は…



### 子どものよりよい成長

そのために…

#### 《カリキュラムマネジメント》

各学校が、学校の教育目標をよりよく達成するために、組織としてカリキュラムを創り、動かし、変えていく、継続的かつ発展的な、課題解決の営みである。

※教育目標を達成するために、(手段として)カリキュラムに焦点化したマネジメント手法



子どもが実際に学んだこと、これから学ぶことまで含まれる研究用語

### チーム学校の一員として、事務職員が果たせる役割やアイデアをぜひ考えてほしい。

○どうすれば、子どもや学校の課題や目標を共有化できるか

○どうすれば、個々の先生の指導技術や経験が、学校の取組に生かされるか。

○どうすれば、教員が子どもと関わったり授業の準備をしたりするための時間を増やせるか。

○新しい時代に適応した、効果的な指導を開発するための、時間を生み出し、場を設定し、情報を得るなどの条件整備はどうすればよいか。

○学校が生み出す知をどのように集積、保管、利活用、修正するか。

○学校内の多様なスタッフが、子どもの成長のために協働する体制をどうつくるか。

○学校・保護者・地域・教育行政が子どもの成長のために協働する体制をどうするか。

カリキュラムに沿った環境整備や予算措置など、事務職員がやれることはたくさんある。子どものよりよい成長を願い、教職員みんなで教育づくり、学校づくりをしていってほしい、と話されました。

ユーモアたっぷり、とてもわかりやすい講義でした。



## 第2回支部代表者会 平成26年12月12日(金) 会場：プラザおでって

過日行われた支部代表者会では、各部の事業報告と今後の予定について協議、確認されました。

### 1 総務部

○50周年記念事業について

- ・退職者名簿について（記念誌購入、祝賀会参加案内）
- ・祝賀会について



### 2 研修部

- (1) 第45回岩手県公立小中学校事務研究大会
- (2) 次期研究大会計画について
- (3) 夏季研修講座について

### 3 研究部

○「学校事務の手引」の発刊について

### 4 その他

- (1) 第48回全事研山形大会におけた「特別研究委員会」設置  
平成28年度の全事研分科会発表において委員を委嘱し、レポート作成と発表に取り組むことについて承認していただきました。
- (2) これからの事務研活動についての「特別委員会」設置  
平成25年10月に行った学校事務職員アンケートの分析結果や研究大会アンケート結果から様々な課題が浮き彫りになりました。今後の県事務研組織や事業の見直しなど、特別委員を委嘱し検討することについて承認していただきました。
- (3) オフサイトミーティングについて



## 50周年記念誌情報です！

各支部並びに会員の皆さんの協力をいただきながら編集作業を進めている「50周年記念誌」ですが、これまでに計9回の編集委員会が開催され、現在は県事務研の50年の経緯をまとめる作業に取り組んでいます。県事務研の『過去・現在・未来』がつながるものになるよう、様々な企画が検討され編集が進められています。10月下旬に会員のお手元に届けられる予定です。お楽しみにお待ちください。



編集委員会の様子です

## 平成27年度 研究大会のお知らせ

『第47回 全国公立小中学校事務研究大会熊本大会』

—子どもの豊かな育ちを支援する学校事務—

大会テーマ「カリキュラムマネジメントの展開と学校づくり」

火の国は 心ワクワク 水湧く湧く 緑あふれる熊本から 深める絆 全国へ

期 日：平成27年8月5日(水)～7日(金) 会場：熊本県立劇場 ほか

記念講演：絵本作家 葉 祥明 氏

「地雷ではなく花をください」「イルカの星」など多数



1年間ありがとうございました。  
平成27年度は50周年記念事業がございます。  
ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。